

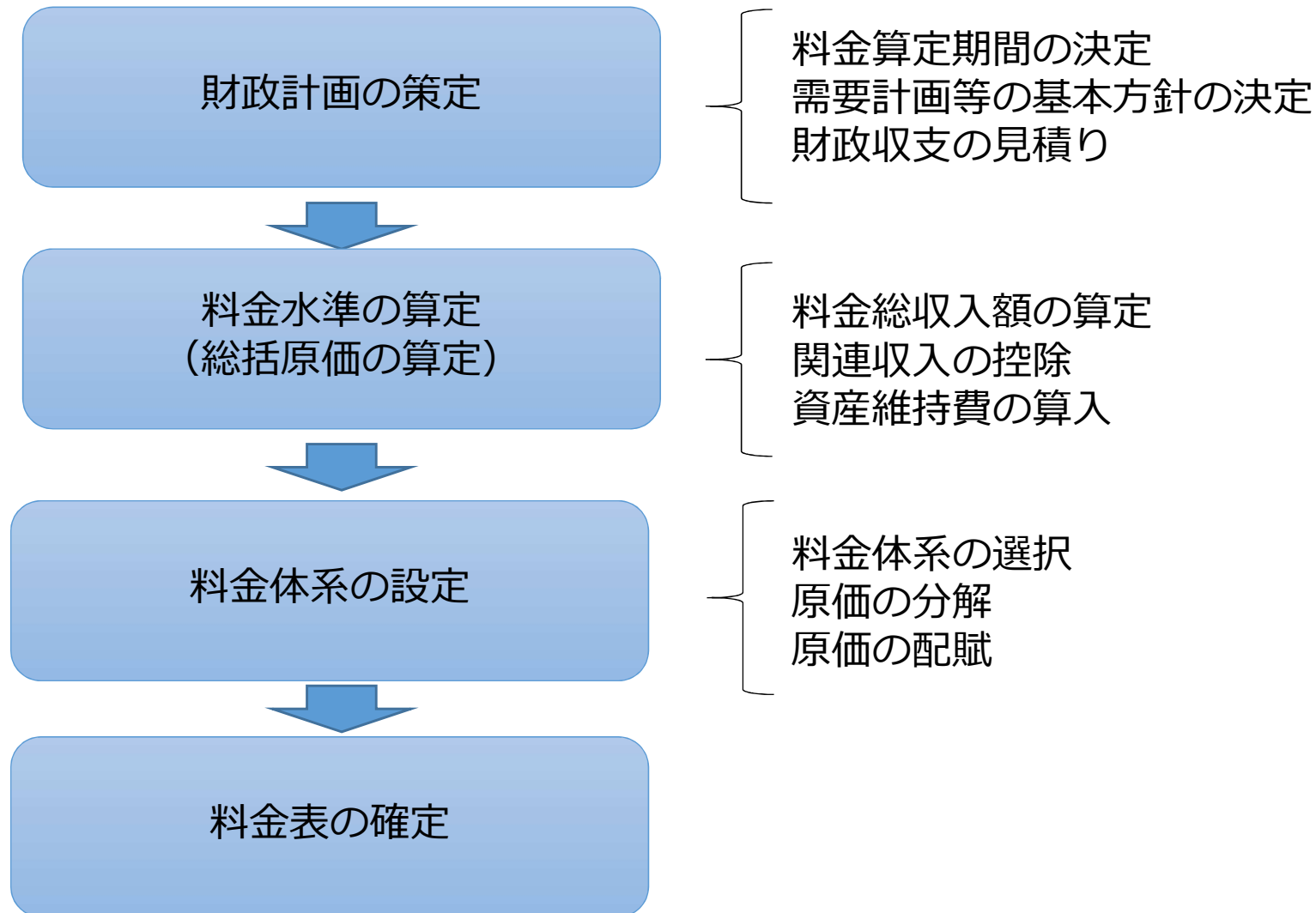
令和7年度 第3回水道審議会資料

東松山市 水道事業

令和7年10月21日（火）

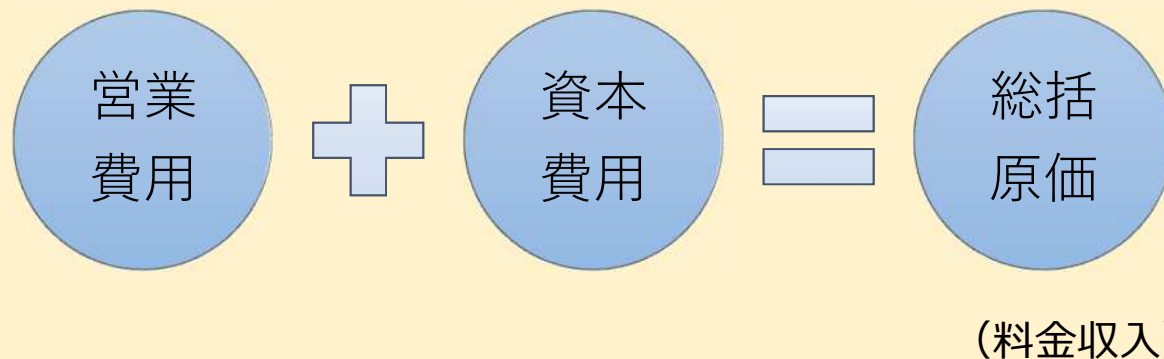
- 水道料金の考え方について P 2 ～ 4
- 総括原価に基づく料金算定 P 5
- 新料金体系の算定結果 P 6 ～ 7
- 改定パターンの検討 P 8 ～ 1 7
- 主な更新（耐震化）予定 P 1 8 ～ 1 9

水道料金の考え方について～料金算定方法～



水道料金の考え方について～総括原価～

- 独立採算制の原則により「水の供給に必要となる原価」を料金収入により回収する必要がある。この回収すべき費用を「総括原価」という。
- 必要な営業上の費用に、健全な経営を維持するために必要な資本費用を含めたもの。



営業費用 = 人件費、動力費、修繕費、受水費、減価償却費等
資本費用 = 支払利息、資産維持費

水道料金の考え方について～算定方針～

基本方針

激変緩和のため、現行料金体系を改定後も維持する

基本料金体系	: 口径別料金体系
二部料金制	: 基本料金と従量料金を組み合わせた料金制度
基本水量	: 10m ³ /月
超過料金	: 逦増型従量料金体系

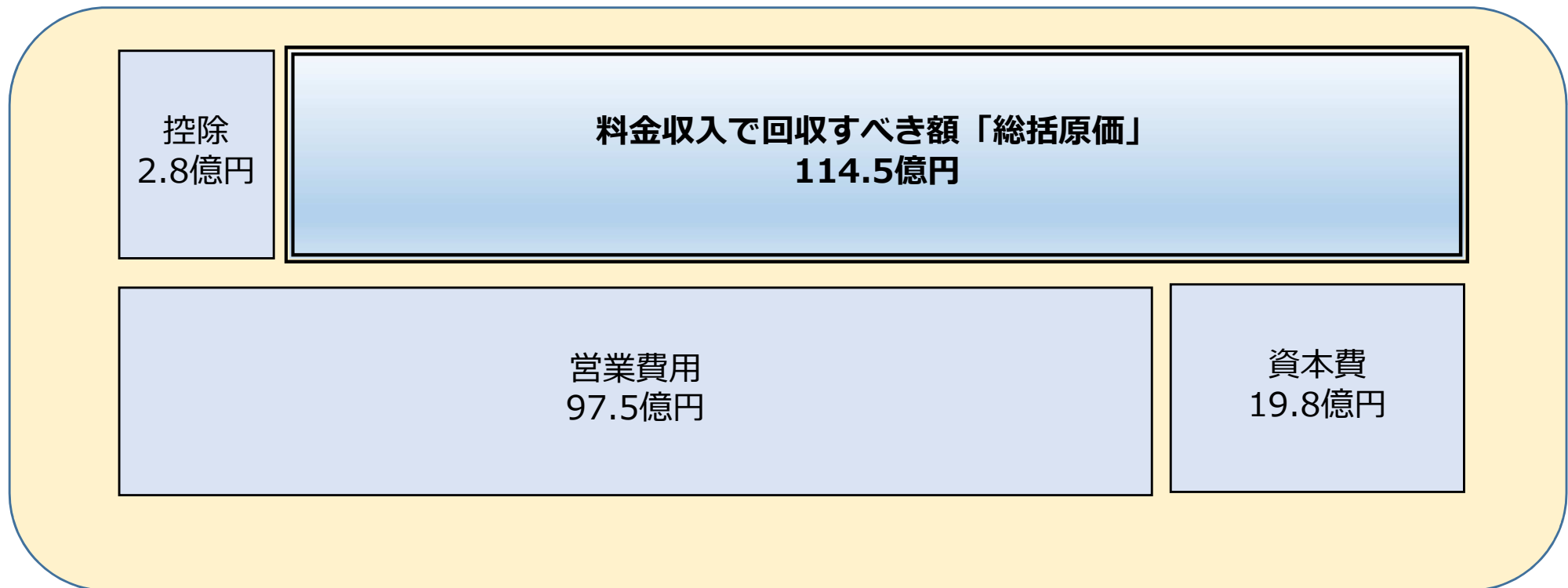
料金算定期間

2027(R9)年度～2031(R13)年度の5年間

※手引きでは料金算定期間は、概ね将来の3年から5年を基準

総括原価に基づく料金算定～適正な料金水準～

- 2027(R9)年度～2031(R13)年度の5年間の総括原価は
114億5,000万円と算出された



新料金体系の算定結果～料金改定案～

- 本市の現況や公平性を加味しつつ、必要な基本料金収入が得られるような改定案とする

料金改定案

- 案①：手引き準拠案をベースとして基本料金の改定率の差を調整する
- 案②：手引き準拠案をベースとして基本料金を全口径一律改定
- 案③：現行料金体系をベースとして基本料金、従量料金を一律改定

新料金体系の算定結果～新料金案③～

- ・ 現行料金体系をベースとして基本料金、従量料金を一律改定

基本料金 案③

口径	基本水量	現行料金	案③	改定率(%)	改定額 (円)
13mm	10m ³	750	1,150	53.3	400
20mm		750	1,150	53.3	400
25mm		750	1,150	53.3	400
30mm		5,600	8,400	50.0	2,800
40mm		10,100	15,200	50.5	5,100
50mm		15,000	22,500	50.0	7,500
75mm		38,600	57,900	50.0	19,300
100mm		64,500	96,800	50.1	32,300
150mm		142,000	213,000	50.0	71,000
200mm		200,000	300,000	50.0	100,000

従量料金 案③

水量区分	現行料金	案③	改定率(%)	改定額 (円)
10m ³ 以下	0	0	-	0
11～15m ³ 以下	85	130	52.9	45
16～30m ³ 以下	115	170	47.8	55
31～50m ³ 以下	150	230	53.3	80
51～80m ³ 以下	190	290	52.6	100
81～120m ³ 以下	225	340	51.1	115
121～	255	380	49.0	125
プール及び浴場 11m ³ 以上	135	200	48.1	65

改定パターンの検討～料金改定の時期について～

- 令和6年度決算が赤字、令和7年度以降も赤字が見込まれる
- 下水道使用料の改定のタイミングを考慮
- 条例整備（議会提出）、改定作業、利用者への周知

R8.1.1

下水道使用料
改定

水道料金
改定

水道料金
改定

R13.1.1

下水道使用料
改定

改定パターンの検討～料金改定の時期について～

料金改定の時期

- 令和 9 年 1 月、令和 1 1 年 1 月

経営戦略策定後生じた重要事項

- 令和 6 年度決算が赤字、令和 7 年度以降も赤字が見込まれる
- 県水受水費の値上げが確定（令和 8 年 4 月から）
- 大口事業者の撤退
- 下水道事業の使用料改定の時期を勘案（令和 8 年 1 月及び令和 1 3 年 1 月）

改定パターンの検討～収支見込みの比較～

○収支見込の比較

改 定 率	R 9～R 1 0 の収支	R 1 1～R 1 3 の収支	R 1 4～R 1 8 の収支	1 0 年間 の収支
5 0 %改定（R 9 改定）	5 0 %改定 +12.3億円	+15.1億円	+19.1億円	+46.5億円
（A） 4 0 %改定→8 %改定	4 0 %改定 +9.2億円	さらに8 %改定 +15.1億円	+19.1億円	+43.4億円
（B） 3 0 %改定→1 6 %改定	3 0 %改定 +6.0億円	さらに1 6 %改定 +15.1億円	+19.1億円	+40.2億円
（C） 2 3 %改定→2 3 %改定	2 3 %改定 +3.8億円	さらに2 3 %改定 +15.1億円	+19.1億円	+38.0億円

改定パターンの検討～改定による影響（A）40%⇒8%～

○改定に伴う影響額（A）40%⇒8%

【1ヵ月】（税抜）

			R9.1.1～			R11.1.1～		
口径	基本水量	現行料金(円)	基本料金(円)	増額(円)	率(%)	基本料金(円)	増額(円)	率(%)
13mm	10m ³	750	1,050	300	40	1,150	100	10
20mm		750	1,050	300	40	1,150	100	10
25mm		750	1,050	300	40	1,150	100	10
30mm		5,600	7,900	2,300	41	8,400	500	6
40mm		10,100	14,200	4,100	41	15,200	1,000	7
50mm		15,000	21,000	6,000	40	22,500	1,500	7
75mm		38,600	54,100	15,500	40	57,900	3,800	7
100mm		64,500	90,300	25,800	40	96,800	6,500	7
150mm		142,000	198,800	56,800	40	213,000	14,200	7
200mm		200,000	280,000	80,000	40	300,000	20,000	7
水量区分	現行料金		従量料金(円)	増額(円)	率(%)	従量料金(円)	増額(円)	率(%)
10m ³ 以下	0		0	0		0	0	
11～15m ³ 以下	85		120	35	41	130	10	8
16～30m ³ 以下	115		160	45	39	170	10	6
31～50m ³ 以下	150		210	60	40	230	20	10
51～80m ³ 以下	190		270	80	42	290	20	7
81～120m ³ 以下	225		320	95	42	340	20	6
121～	255		360	105	41	380	20	6

改定パターンの検討～改定による影響（B）30%⇒16%～

○改定に伴う影響額（B）30%⇒16%

【1ヵ月】（税抜）

			R9.1.1～			R11.1.1～		
口径	基本水量	現行料金(円)	基本料金(円)	増額(円)	率(%)	基本料金(円)	増額(円)	率(%)
13mm	10m ³	750	1,000	250	33	1,150	150	15
20mm		750	1,000	250	33	1,150	150	15
25mm		750	1,000	250	33	1,150	150	15
30mm		5,600	7,300	1,700	30	8,400	1,100	15
40mm		10,100	13,200	3,100	31	15,200	2,000	15
50mm		15,000	19,500	4,500	30	22,500	3,000	15
75mm		38,600	50,200	11,600	30	57,900	7,700	15
100mm		64,500	83,900	19,400	30	96,800	12,900	15
150mm		142,000	184,600	42,600	30	213,000	28,400	15
200mm		200,000	260,000	60,000	30	300,000	40,000	15
水量区分	現行料金		従量料金(円)	増額(円)	率(%)	従量料金(円)	増額(円)	率(%)
10m ³ 以下	0		0	0		0	0	
11～15m ³ 以下	85		110	25	29	130	20	18
16～30m ³ 以下	115		150	35	30	170	20	13
31～50m ³ 以下	150		195	45	30	230	35	18
51～80m ³ 以下	190		250	60	32	290	40	16
81～120m ³ 以下	225		295	70	31	340	45	15
121～	255		335	80	31	380	45	13

改定パターンの検討～改定による影響（C） 23%⇒23%～

○改定に伴う影響額（C） 23%⇒23%

【1ヵ月】（税抜）

			R9.1.1～			R11.1.1～		
口径	基本水量	現行料金(円)	基本料金(円)	増額(円)	率(%)	基本料金(円)	増額(円)	率(%)
13mm	10m ³	750	950	200	27	1,150	200	21
20mm		750	950	200	27	1,150	200	21
25mm		750	950	200	27	1,150	200	21
30mm		5,600	6,900	1,300	23	8,400	1,500	22
40mm		10,100	12,500	2,400	24	15,200	2,700	22
50mm		15,000	18,500	3,500	23	22,500	4,000	22
75mm		38,600	47,500	8,900	23	57,900	10,400	22
100mm		64,500	79,400	14,900	23	96,800	17,400	22
150mm		142,000	174,700	32,700	23	213,000	38,300	22
200mm		200,000	246,000	46,000	23	300,000	54,000	22
水量区分	現行料金		従量料金(円)	増額(円)	率(%)	従量料金(円)	増額(円)	率(%)
10m ³ 以下	0		0	0		0	0	
11～15m ³ 以下	85		105	20	24	130	25	24
16～30m ³ 以下	115		140	25	22	170	30	21
31～50m ³ 以下	150		185	35	23	230	45	24
51～80m ³ 以下	190		235	45	24	290	55	23
81～120m ³ 以下	225		280	55	24	340	60	21
121～	255		315	60	24	380	65	21

改定パターンの検討～具体例～

(A) 40%⇒8%

【1ヵ月】

(税抜)

使用者 区分	使用 水量 目安	現行 料金 (円)
一般家庭 (1人) 口径13mm	8	750
一般家庭 (3人) 口径20mm	20	1,750
大口 事業者 口径50mm	1,000	259,250

R9.1.1～		
料金 (円)	増額 (円)	増率 (%)
1,050	300	40
2,450	700	40
365,900	106,650	41

R11.1.1～		
料金 (円)	増額 (円)	増率 (%)
1,150	100	10
2,650	200	8
387,000	21,100	6

(B) 30%⇒16%

使用者 区分	使用 水量 目安	現行 料金 (円)
一般家庭 (1人) 口径13mm	8	750
一般家庭 (3人) 口径20mm	20	1,750
大口 事業者 口径50mm	1,000	259,250

R9.1.1～		
料金 (円)	増額 (円)	増率 (%)
1,000	250	33
2,300	550	31
340,300	81,050	31

R11.1.1～		
料金 (円)	増額 (円)	増率 (%)
1,150	150	15
2,650	350	15
387,000	46,700	14

(C) 23%⇒23%

使用者 区分	使用 水量 目安	現行 料金 (円)
一般家庭 (1人) 口径13mm	8	750
一般家庭 (3人) 口径20mm	20	1,750
大口 事業者 口径50mm	1,000	259,250

R9.1.1～		
料金 (円)	増額 (円)	増率 (%)
950	200	27
2,175	425	24
320,275	61,025	24

R11.1.1～		
料金 (円)	増額 (円)	増率 (%)
1,150	200	21
2,650	475	22
387,000	66,725	21

改定パターンの検討～収支見込みの比較（A） 40%⇒8%～

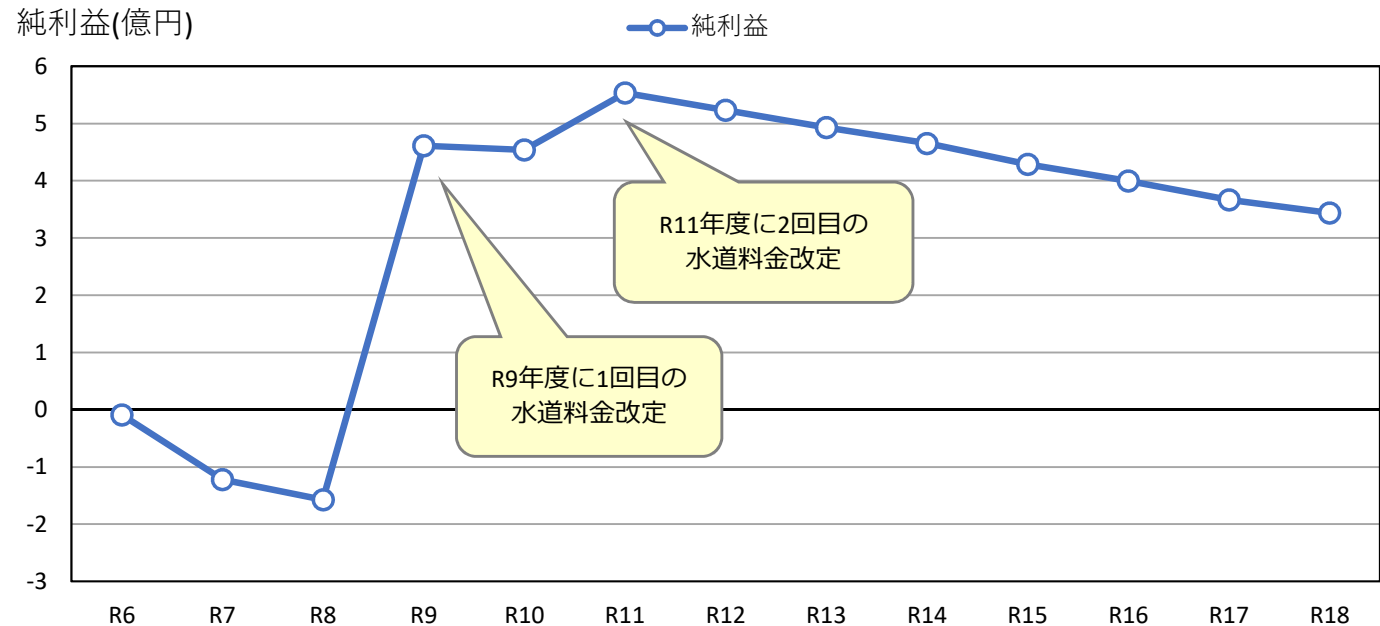
メリット

- 累積赤字の解消が一番早い⇒耐震化などの設備投資への財源投入が可能になる
- R11改定率が一番小さい

デメリット

- R9改定率が一番大きい

損益



改定パターンの検討～収支見込みの比較（B） 30%⇒16%～

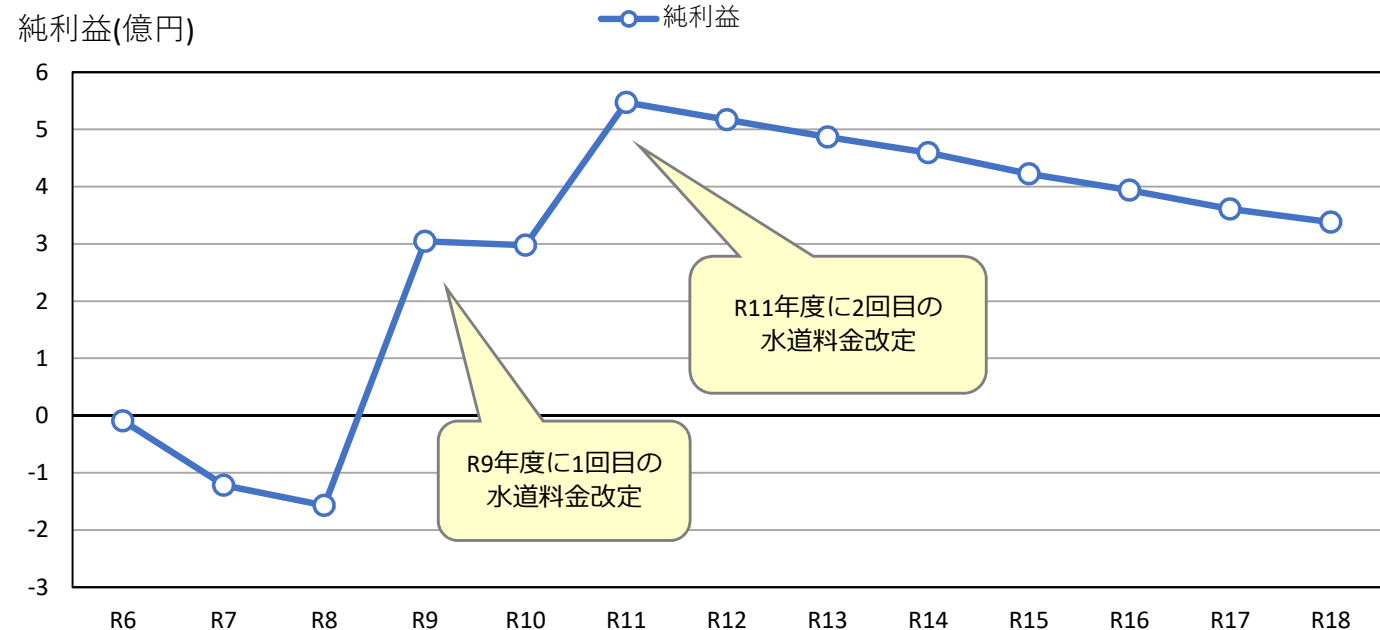
メリット

- 累積赤字の解消が比較的早い⇒耐震化などの設備投資への財源投入が可能になる

デメリット

- R9改定率が比較的大きい

損益



改定パターンの検討～収支見込みの比較（C） 23%⇒23%～

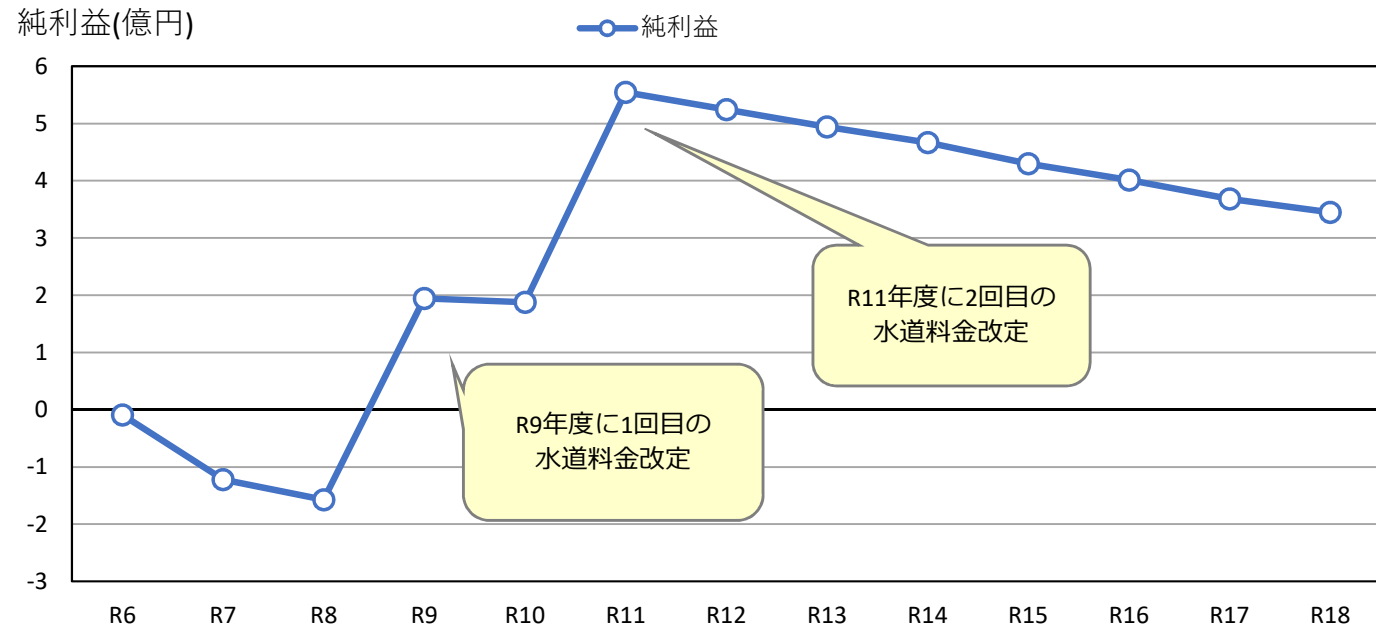
メリット

- R9改定率が一番小さい

デメリット

- R11改定率が一番大きい
- 累積赤字の解消が遅くなる⇒耐震化などの設備投資が遅延する

損益



主な更新（耐震化） 予定～耐震化率の現状と管路更新～

・耐震化率の現状

	耐震化率	備考
管路の耐震化率	33.8 %	
浄水施設の耐震化率	0 %	
配水池の耐震化率	2.4 %	高坂丘陵配水場

・管路更新（耐震化）

実施内容	更新費用
管路更新（耐震化） 毎年約 3.0km	約8億円

※経営戦略策定時 約3億円

主な更新（耐震化）予定～構造物耐震化～

- 構造物耐震化

実施内容	更新費用
水穴配水場：1号配水池	約30億円
水穴配水場：2号配水池	
高本山配水場：配水池2号	
高本山配水場：配水池1号	
高本山配水場：県水受水池	
第二浄水場：配水池（東・西）	